

「子育て支援に関するアンケート」の結果報告

1. 目的

平成29年度は『近江八幡市子ども・子育て支援事業計画（5カ年計画）』の中間年に当たり、平成27年3月の策定から約2年半が経過する。

今回、本市の子育て環境に対する評価等について経年変化を確認するため、アンケート調査を実施した。経年変化の確認を主題とするため、アンケート内容は計画策定時のニーズ調査（H25.9～10月、対象：就学前児童がいる全世帯3711世帯、有効回収数：1871世帯、回収率50.4%）の調査項目に近似させて実施した。

2. アンケート概要

(1) 子育て世帯への配布

配布場所：だんないで子育てフェスタ2017、地域子育て支援拠点8カ所
 配布期間：9月上旬～9月22日 回収数：185枚

(2) 市政モニター制度を活用した配布

モニターの構成：20代9人、30代24人、40代13人、50代13人、60代20人、
 70代14人、不明7人
 配布期間：10月2日～10月26日 回収数：93枚

3. 子育て世帯へのアンケート結果

子育て世帯（N=185）へアンケート調査をした結果、20歳未満、60歳以上から1人ずつ回答があったが、30歳代の方が128人（69%）と最も多くなっている。

回答者の性別は、男性2人（いずれも40歳代）、女性183人となっている。

また、世帯における子どもの数については、1子のみ107人、2子66人、3子12人となっている。



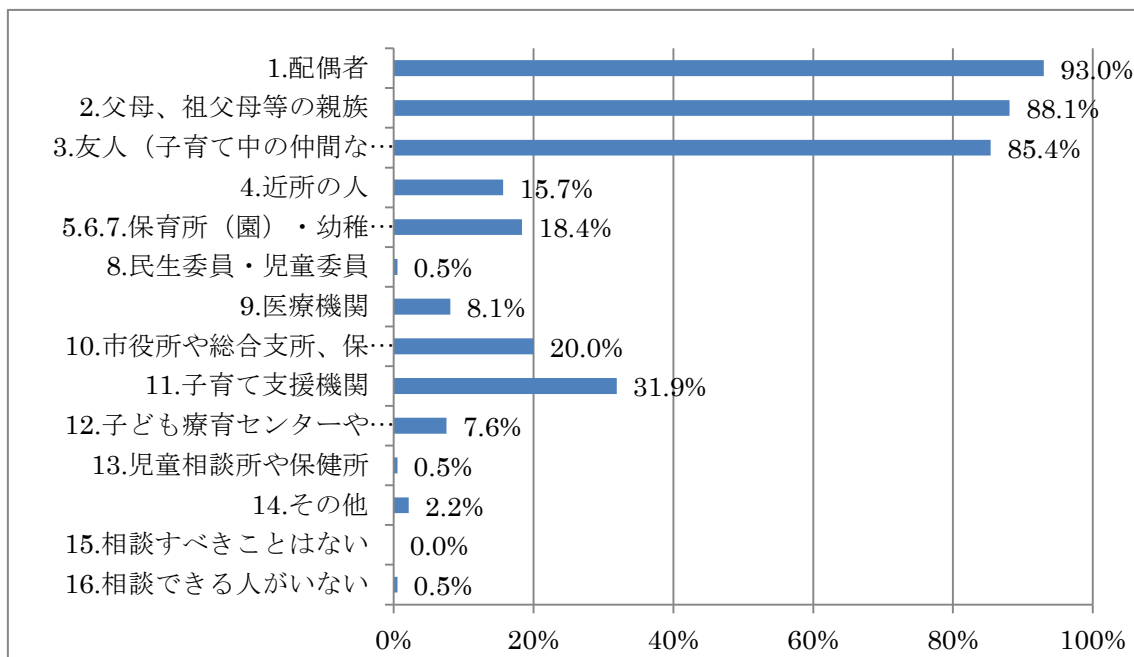
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
1子	1	19	73	14	0	0
2子	0	12	44	9	0	1
3子	0	0	11	1	0	0

3-1 ニーズ調査項目との比較

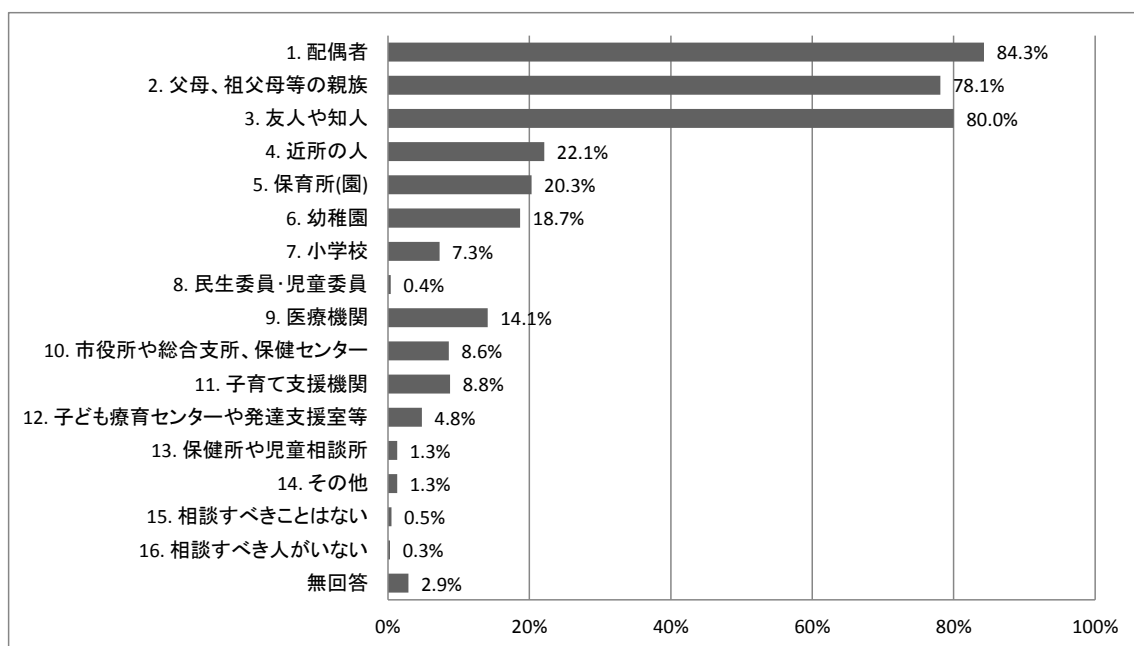
今回、経年比較をするためニーズ調査に関連させた項目は、子育て環境に対する評価を含め、5項目となっている。

Q7 これまで子育てに関する悩みをどのような人・機関に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

H29 今回調査 (N=185)



H25 ニーズ調査 (N=1871)



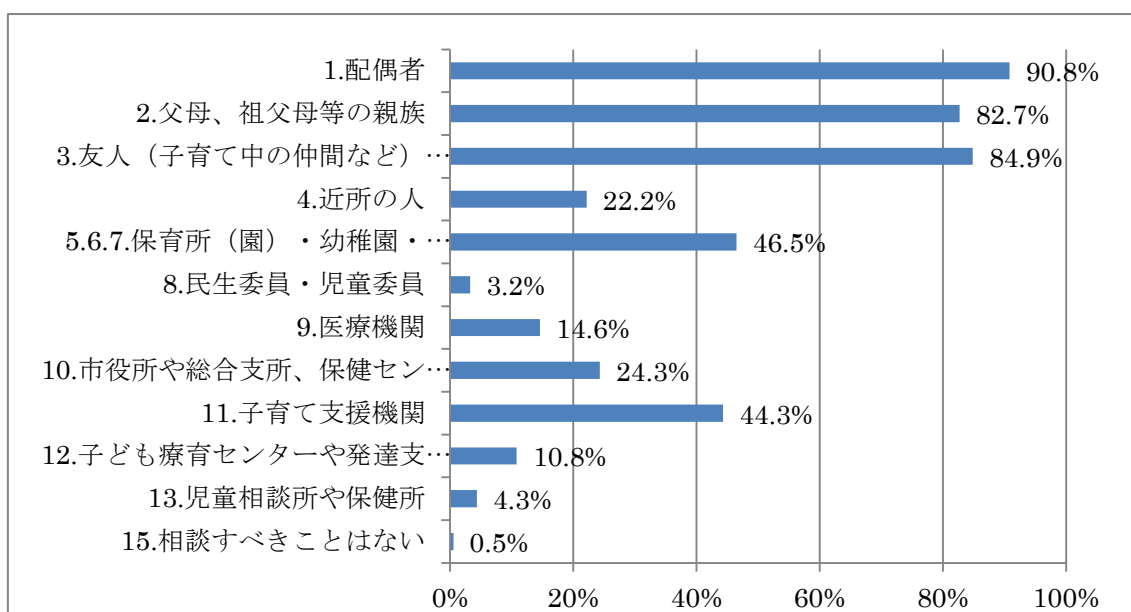
ニーズ調査時と全体的な傾向は変わらないが、「近所の人」「医療機関」に相談している割合が減少している。一方で、「市役所・総合支所・保健センター」「子ども療育センター・発達支援室」の割合が増加しており、特に「子育て支援機関」に相談している割合が8.8%から31.9%に大幅に増加している。

また、年代別で比較すると、「市役所・総合支所・保健センター」「子育て支援機関」「子ども療育センター・発達支援室」に相談している割合は、年代が上がるにつれて増える傾向であるが、「医療機関」に相談している割合は20歳代で最も高くなっている。

「保育所・幼稚園・小学校」で相談している割合は、20歳代や1子のみ世帯では5%未満であったが、40歳代や3子世帯では40%を超える割合となっている。

Q8 今後、子育てに関する悩みをどのような人・機関に相談したいですか。(あてはまるものすべてに○)

H29 今回調査 (N=185)



ニーズ調査の関連項目として、相談したい人・機関（相談希望）について調査した。

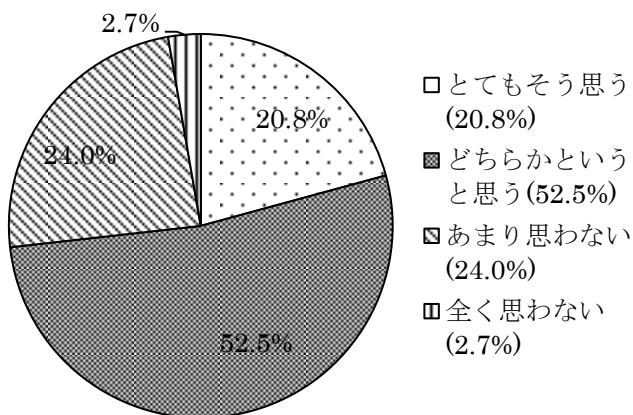
Q7の相談実態と同様の傾向であるが、「保育所・幼稚園・小学校」「子育て支援機関」での相談を希望される割合が増えている。

また、「近所の人」「民生委員・児童委員」を希望される割合も増えており、特に3子世帯での希望者が多く、地域との関係も望んでいるのではないかと推測される。

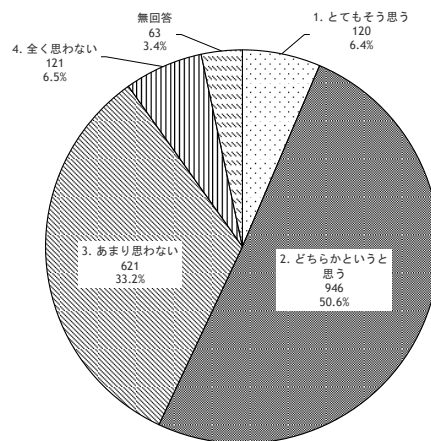
「医療機関」での相談希望も増えているが、相談実態が低かった30代、40代での希望が高くなっている。

Q9 本市は子育てしやすい環境であると感じていますか。

H29 今回調査 (N=185)

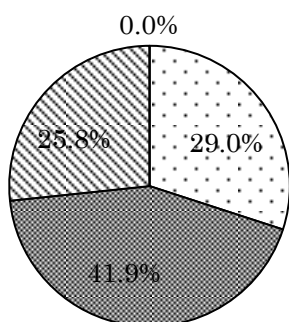


H25 ニーズ調査 (N=1871)

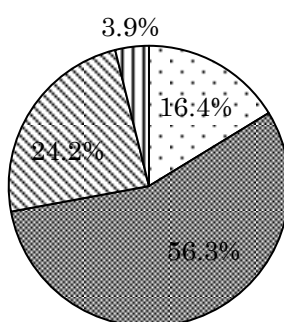


ニーズ調査時には、「1.とてもそう思う」「2.どちらかというと思う」の合計 57.0%を肯定的な評価としていたが、今回調査では 73.3%となり、肯定的な評価が増加している。

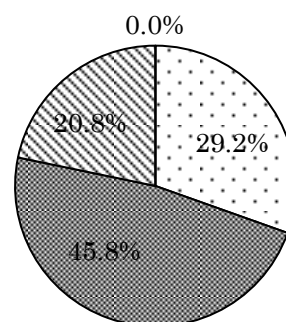
(20歳代)



(30歳代)



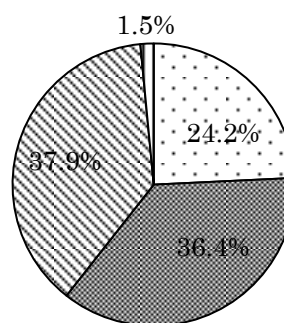
(40歳代)



また、年代別で比較すると、20歳代 70.9%、30歳代 72.7%、40歳代 75.0%と、年代が高くなるにつれて、肯定的な評価が高くなっている。

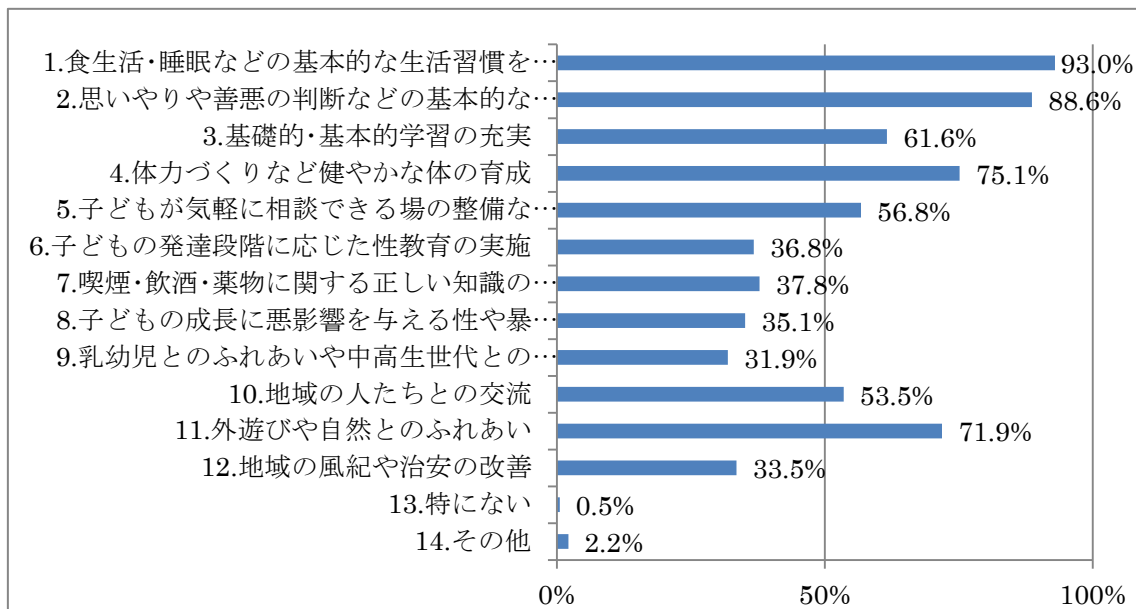
子ども数で比較すると、2子世帯での肯定的な評価が 60.6%と全体合計より低くなっている。その内訳を子どもの年齢構成で分析すると、末子年齢が 25カ月～36カ月で「あまり思わない」を選択した方が多くなっている。

(2子世帯)

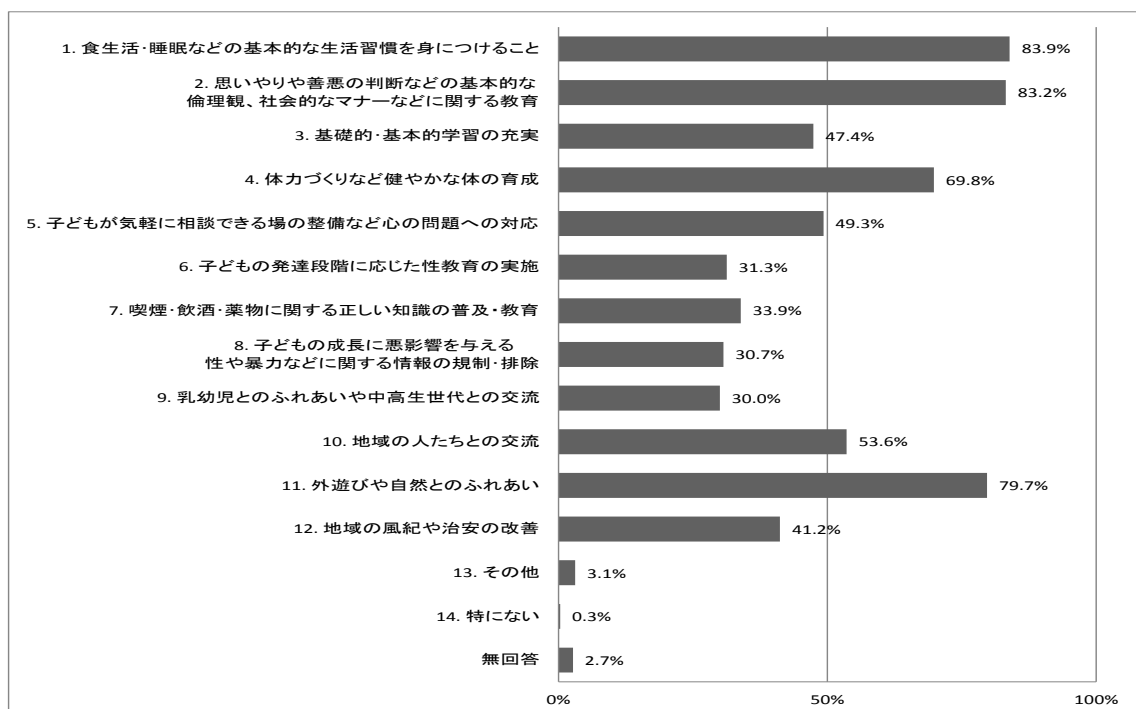


Q11 子どもたちが健やかに成長していくために、重要と思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

H29 今回調査 (N=185)



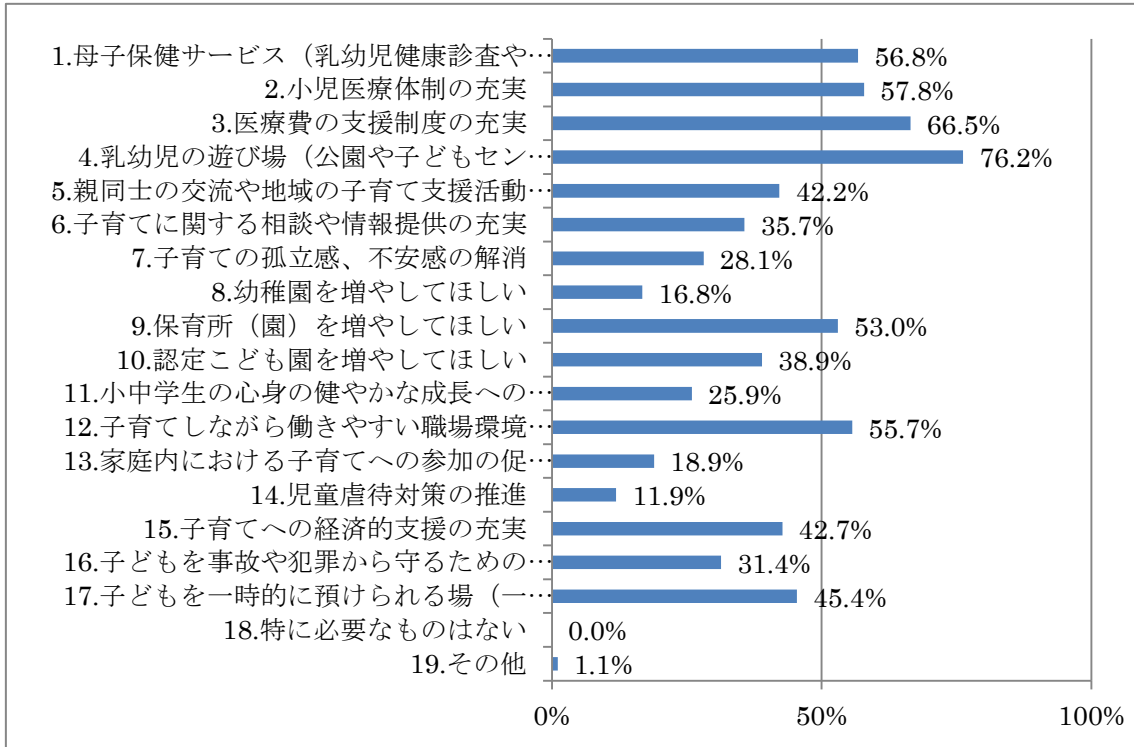
H25 ニーズ調査 (N=1871)



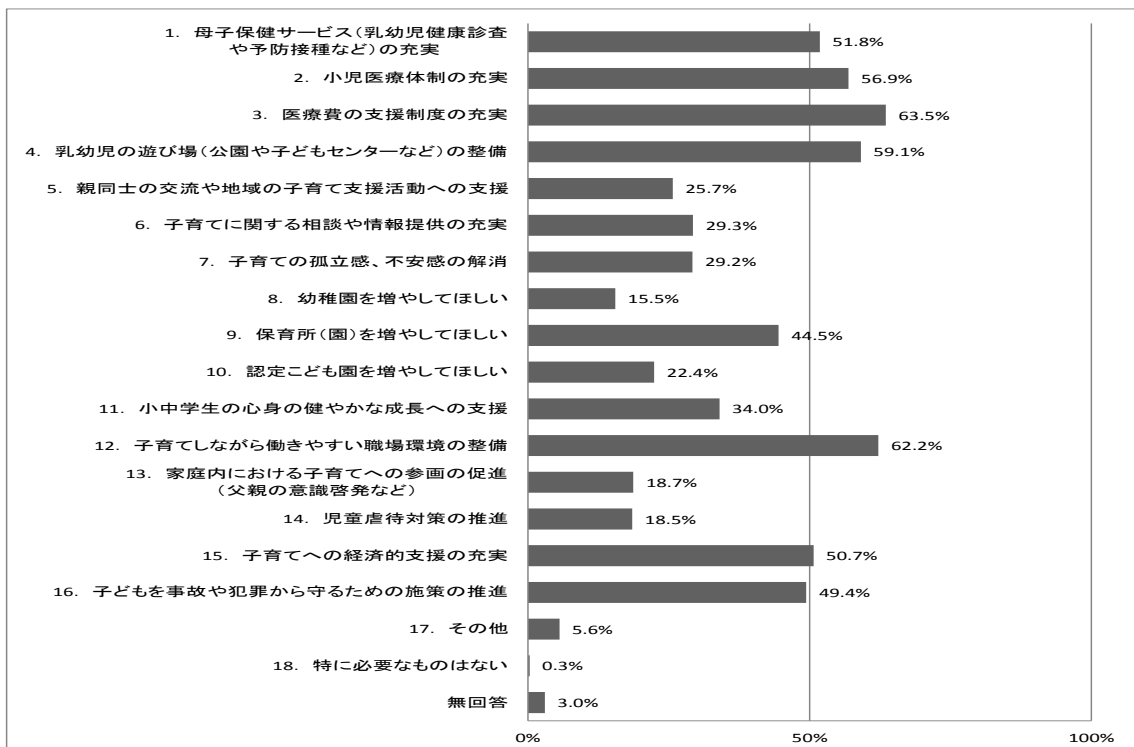
ニーズ調査時と全体的な傾向は変わらないが、「基礎的・基本的学習の充実」の割合が増えている。また、年代別で比較すると年代が高くなるにつれて「1.生活習慣」「2.倫理観・社会的マナー」の項目を重要と考える傾向にある。

Q12 子育てをしやすいまちづくりのために、今後どのようなサービスの充実が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

H29 今回調査 (N=185)



H25 ニーズ調査 (N=1871)



ニーズ調査時と全体的な傾向は変わらないが、「4.乳幼児の遊び場（公園や子どもセンターなど）の整備」「5.親同士の交流や地域の子育て支援活動への支援」「10. 認定こども園を増やしてほしい」の項目を必要だと思う割合が増加している。

年代別の傾向では、「6.子育てに関する相談や情報提供の充実」「11.小中学生の心身の健やかな成長への支援」の項目が、年代が高くなるにつれ割合が高くなっている。

また、子ども数での傾向では、「3.医療費の支援制度の充実」の項目が子ども数に比例して必要である割合が高くなっている。

3-2 その他のアンケート項目

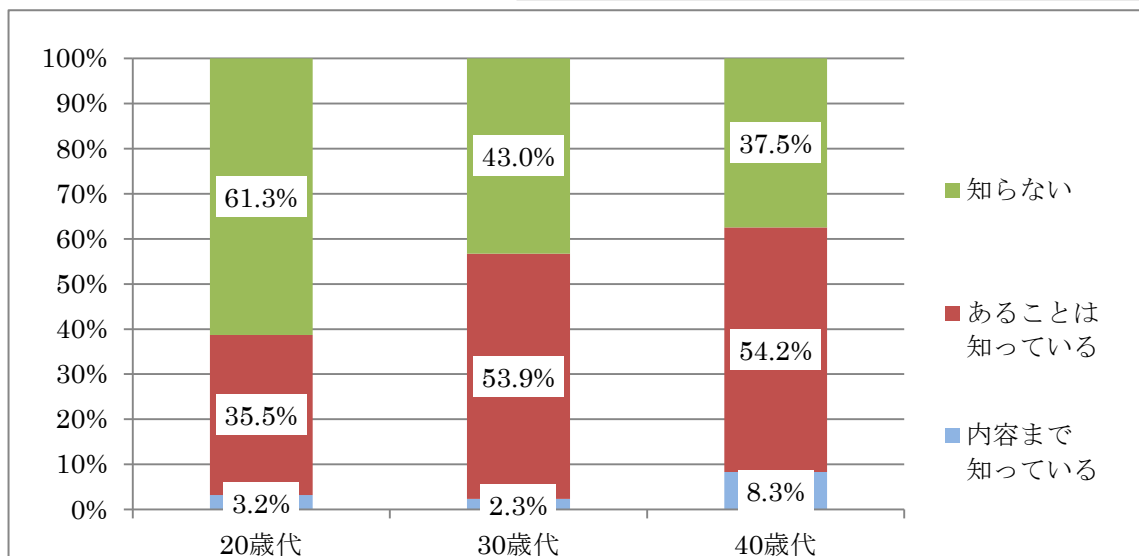
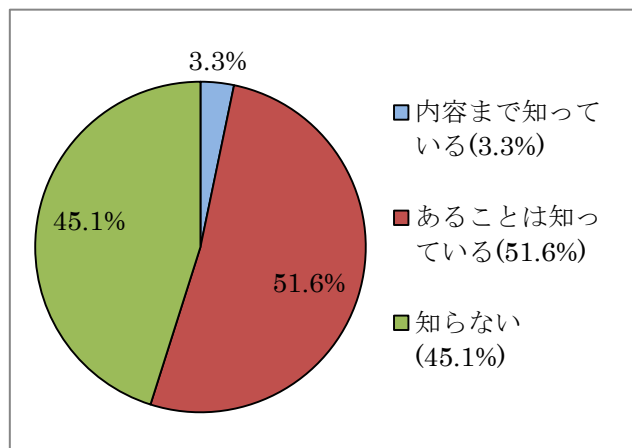
今回、ニーズ調査関連項目以外に、子ども・子育て支援事業計画の認知度等、4項目も調査した。

Q4 本市の『子ども・子育て支援事業計画』を知っていますか。

計画があることも知らない割合が45.1%にもなり、なかなか認知が進んでいない結果となった。

また、年代別で分析すると、特に20歳代で認知が進んでいないことが分かる。

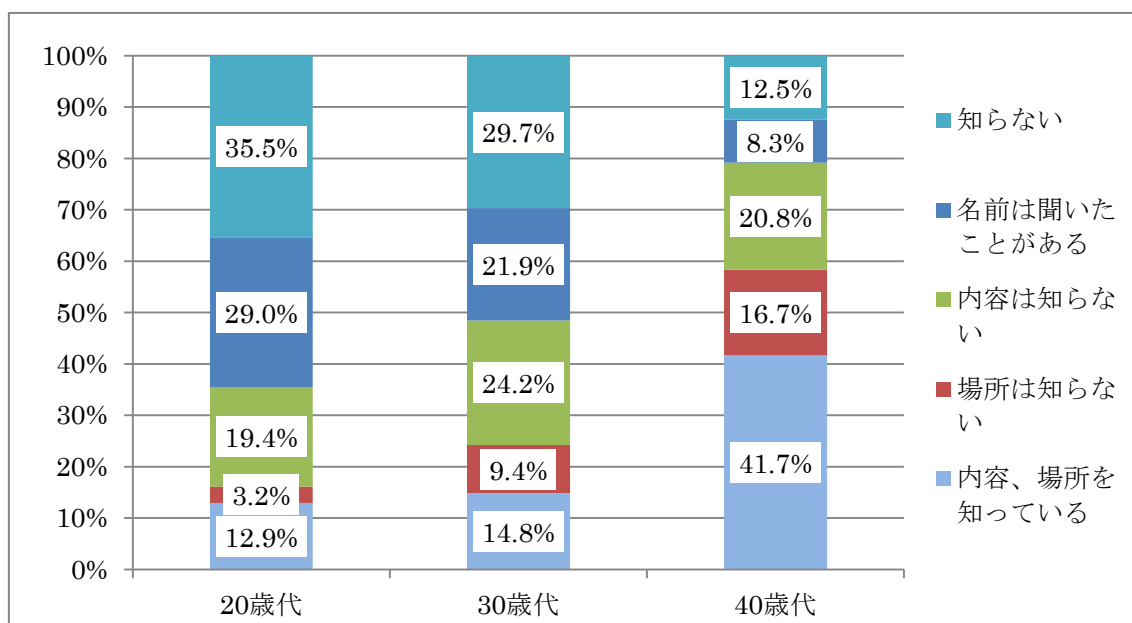
引き続き、認知度を上げる取り組みが必要である。



Q5 保健センター内に、妊娠期から子育て期までなんでも相談ができる窓口『子育て世代包括支援センター』があることを知っていますか。

全体では、内容・場所を知っている（17.8%）、場所は知らない（9.2%）、内容は知らない（22.7%）、名前は聞いたことがある（22.2%）、知らない（28.1%）という結果となった。

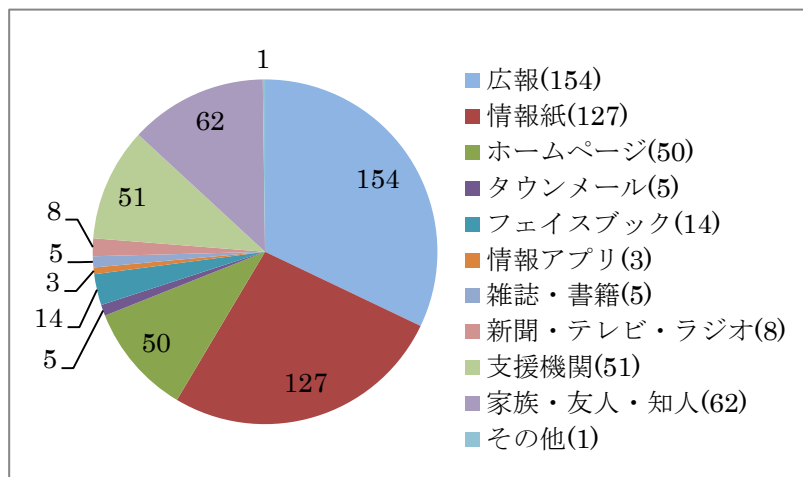
年代別で分析すると、年代が高くなるにつれて認知が進んでいることが分かる。特に、20歳代では64.5%の方が、具体的なことは知らない状況となっている。



Q6 市では子育てに関する情報をいろいろな媒体で発信していますが、どの媒体から子育て情報を得ていますか。（あてはまるものすべてに○）

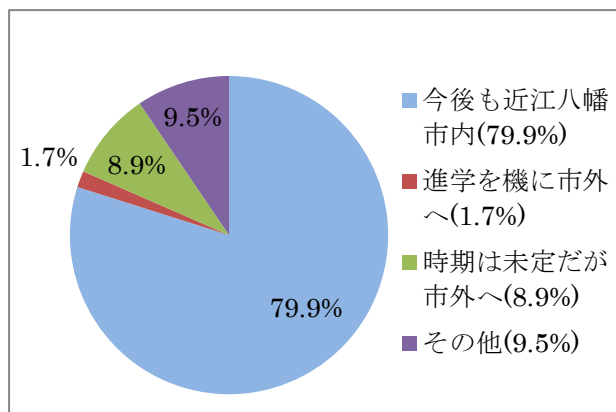
「広報(154人)」「情報誌・チラシ類(127人)」から情報を得ている人が多い。

次いで、「家族・友人」「子育て支援機関」などの口コミから情報を取得している。



Q10 本市での子育てについて、今後の意向をお聞かせください。

「これからも市内で子育てを行いたい」と答えた方の割合が最も高い結果（79.9%）となった。その市内意向者の理由は、下表のとおりである。なお、家を建てたなどの環境的な理由を挙げている人でも、改善意見と同様の意見を追記し、今後の充実を願う人は多数いた。



一方、市外への引っ越しを希望した人（10.6%、19人）の理由としては、仕事関係（5人）、実家（3人）の順に記載が多くなっている。

＜主な理由＞

良い理由	環境的理由	改善意見
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもセンターなど子育て支援が充実（16人） ・人がやさしく、自然が豊か（7人） ・友だちができた（5人） 	<ul style="list-style-type: none"> ・家を建てたから（27人） ・実家がある（8人） ・住み慣れた街（7人） ・仕事都合により不明（4人） 	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童、保育の充実（5人） ・医療費の充実（5人） ・公園の充実（4人）

Q13 本市の子育て支援に対して感じていること、期待したいことがありましたら、ご記入ください。

自由記載欄の内、関連した内容が複数あったものを取りまとめると、「小児医療費助成の充実（31）」「待機児童対策（25）」「遊べる場所・公園の整備（19）」が上位3項目となった。また、続いて「子育て支援施設の充実（8）」「子育てイベントの開催（6）」「産前産後支援の充実（6）」「小学校・放課後児童クラブの充実（5）」「一時預かりの創設（3）」の順に意見が多かった。

これらは、Q12の「充実が必要なサービス」の設問とも回答の傾向が近似しており、本市の子育て支援として充実を望む声であると考えられる。

子育て支援に関するアンケート

市では、平成27年3月に『近江八幡市子ども・子育て支援事業計画』を策定しました。現在、「子どもは地域の宝、みんなで見守り育てよう！」を基本理念に、子どもの最善の利益が実現されるまち「子育てするなら近江八幡」となるよう、地域社会全体で結婚・妊娠・出産・子育てに関する切れ目ない支援に取り組んでいます。

計画策定から2年半が経過することから、現在の本市の子育て環境等についてお聞かせください。

「**あてはまるものすべてに○**」という記載がされていないものは、1つのみに○印を付けてください。

Q1 あなたの年齢を教えてください。

- ①20歳未満 ②20歳代 ③30歳代 ④40歳代 ⑤50歳代 ⑥60歳以上

Q2 あなたの性別を教えてください。

- ①男 ②女

Q3 あなたのお子さんの年齢を教えてください。

- 第1子 () 歳 () か月 第2子 () 歳 () か月
第3子 () 歳 () か月 第4子 () 歳 () か月

Q4 本市の『子ども・子育て支援事業計画』を知っていますか。

- ①ホームページで確認したことがあるなど、計画の内容まで知っている。
②計画があることは知っているが、詳しい内容は知らない。
③知らない。

Q5 保健センター内に、妊娠期から子育て期までなんでも相談ができる窓口『子育て世代包括支援センター』があることを知っていますか。

- ①場所、取り組みの内容まで知っている
②名前、取り組みの内容は知っているが、場所は知らない
③名前、場所は知っているが、取り組みの内容は知らない
④名前は聞いたことがあるが、場所、取り組みの内容は知らない
⑤知らない

Q6 市では子育てに関する情報をいろいろな媒体で発信していますが、どの媒体から子育て情報を得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

- ①広報おうみはちまん
- ②子どもセンターなどの情報紙やチラシ類
- ③ホームページ
- ④タウンメール(子育て情報)
- ⑤フェイスブック「近江八幡子育てネットワーク」
- ⑥行政情報アプリ「マチイロ」
- ⑦雑誌・書籍
- ⑧新聞・テレビ・ラジオ
- ⑨子どもセンターや子育て世代包括支援センターなどの支援機関
- ⑩家族、友人、知人
- ⑪その他()

Q7 これまで子育てに関する悩みをどのような人・機関に相談していますか。(あてはまるものすべてに○) <ニーズ調査項目>

- ①配偶者
- ②父母、祖父母等の親族
- ③友人(子育て中の仲間など)や知人
- ④近所の人
- ⑤保育所(園)・幼稚園・小学校
- ⑥民生委員・児童委員
- ⑦医療機関
- ⑧市役所や総合支所、保健センター
- ⑨子育て支援機関
- ⑩子ども療育センターや発達支援室等
- ⑪児童相談所や保健所
- ⑫相談すべきことはない
- ⑬相談できる人がいない
- ⑭その他()

Q8 今後、子育てに関する悩みをどのような人・機関に相談したいですか。(あてはまるものすべてに○) <ニーズ調査項目関連>

- ①配偶者
- ②父母、祖父母等の親族
- ③友人(子育て中の仲間など)や知人
- ④近所の人

- ⑤保育所（園）・幼稚園・小学校
- ⑥民生委員・児童委員
- ⑦医療機関
- ⑧市役所や総合支所、保健センター
- ⑨子育て支援機関
- ⑩子ども療育センターや発達支援室等
- ⑪児童相談所や保健所
- ⑫相談すべきことはない

Q 9 本市は子育てしやすい環境であると感じていますか。 <ニーズ調査項目>

- ①とてもそう思う
- ②どちらかというと思う
- ③あまり思わない
- ④全く思わない

Q 10 本市での子育てについて、今後の意向をお聞かせください。

- ①これからも近江八幡市内で子育てを行いたい
- ②子どもの進学を機に市外へ引っ越したい
- ③時期は未定だが市外へ引っ越したい
- ④その他（ ）

その理由もお聞かせください。

Q 11 子どもたちが健やかに成長していくために、重要と思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○） <ニーズ調査項目>

- ①食生活・睡眠などの基本的な生活習慣を身につけること
- ②思いやりや善悪の判断などの基本的な倫理観、社会的なマナーなどに関する教育
- ③基礎的・基本的学習の充実
- ④体力づくりなど健やかな体の育成
- ⑤子どもが気軽に相談できる場の整備など心の問題への対応
- ⑥子どもの発達段階に応じた性教育の実施
- ⑦喫煙・飲酒・薬物に関する正しい知識の普及・教育
- ⑧子どもの成長に悪影響を与える性や暴力などに関する情報の規制・排除

- ⑨乳幼児とのふれあいや中高生世代との交流
- ⑩地域の人たちとの交流
- ⑪外遊びや自然とのふれあい
- ⑫地域の風紀や治安の改善
- ⑬特にない
- ⑭その他 ()

Q12 子育てをしやすいまちづくりのために、今後どのようなサービスの充実が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○) <ニーズ調査項目>

- ①母子保健サービス（乳幼児健康診査や予防接種など）の充実
- ②小児医療体制の充実
- ③医療費の支援制度の充実
- ④乳幼児の遊び場（公園や子どもセンターなど）の整備
- ⑤親同士の交流や地域の子育て支援活動への支援
- ⑥子育てに関する相談や情報提供の充実
- ⑦子育ての孤立感、不安感の解消
- ⑧幼稚園を増やしてほしい
- ⑨保育所（園）を増やしてほしい
- ⑩認定こども園を増やしてほしい
- ⑪小中学生の心身の健やかな成長への支援
- ⑫子育てしながら働きやすい職場環境の整備
- ⑬家庭内における子育てへの参加の促進（父親の意識啓発など）
- ⑭児童虐待対策の推進
- ⑮子育てへの経済的支援の充実
- ⑯子どもを事故や犯罪から守るための施策の推進
- ⑰子どもを一時的に預けられる場（一時預かり）の充実
- ⑱特に必要なものはない
- ⑲その他 ()

Q13 本市の子育て支援に対して感じていること、期待したいことがありましたら、ご記入ください。

以上です。アンケートご協力ありがとうございました